

徹底・迅速検査で歯止めを

新型コロナウイルスの感染者が急増するなかで、東京都医師会は感染拡大抑制のために感染震源地（エピセンター）での補償と一体の休業要請と徹底したPCR検査の実施などを提起しました（7月30日）。同医師会の尾崎治夫会長に現状認識や対策について聞きました。（前野哲朗）



東京都医師会会長
尾崎治夫さんに聞く

「エピセンター」対策を強く提起した理由を聞かせてください。
 新型コロナ感染が日本で初めて確認された1月ごろから振りかえってみると、4月初

感染震源地対策を提起

になっており、地域で感染が広がり、新宿区に広がり、さらには周辺地域や周辺県にも広がりました。同様のことが愛知や大阪、福岡などでも起きている。つまりエピセンターが大都市中心にできて収まらないことが、今回の感染拡大の大きな原因だと思います。

きちつと補償を

どう歯止めをかけるか。都知事が営業時間短縮や休業を要請し、協力を20万円払うと打ち出していますが、それでは家賃にもならない。春の第1波では店側も余裕があり要請に応じられたが、今度は店がつぶれてしまうのであまたり要請に応じないと思えます。ですから、きちつと補償

して休業できるようにし、その地域は無症状者を含めてPCR検査を迅速に行い、感染状況をつかみ、陽性者は保護・隔離していくべきです。エピセンター化している地域の休業要請は、補償もつけないと、ある程度強制力を持たせ、地域住民は全員PCR検査を受けてもらうべきで、そのためには新型インフルエンザ特別措置法の改正が必要だと考えています。

政府は思考停止

政府の対応についてはどう見えますか。
 思考停止しているというか。感染者は増えているが重症者や死者は少ない。だから第1波とは違う」と、この

軽症例が多くなると、医療従事者も自分自身が感染したら軽症になるのか、重症になるのかは誰にもわからない。軽症例でも後遺症を残すという報告があります。そして医療従事者は20代、30代だけではなく、50代、60代の人も多く重症化することもあります。毎日、現場では恐怖を感じながら仕事をしているのです。

日本のPCR検査の人口比での実施数は「世界で159位」。日本共産党の志位委員長が28日、安倍首相あての「緊急申し入れ」で示した数字が衝撃を及ぼしています。

地域中で158位となっています。
 日本の検査総数は75万人近くに達していますが、100万人あたりでは5902人。主要7カ国（G7）のなかでは最低です。英国（14位）、米国（21位）、ドイツ（45位）などと比べ突出して低くなっています。

であることには変わりはありません。「ワールドメーター」は米国に拠点を置き、世界の研究者やボランティアのチームが運営しています。ウェブサイトにによると、英国、タイ、スリランカなどの政府のほか、米紙ニューヨーク・タイムズや英紙フィナンシャル・タイムズなどのメディアでも活用されています。

いま 日本共産党

未来 ひらく 「赤旗」が おもしろい

日刊 月3497円(本体価格3238円)
 日曜版 月930円(本体価格861円)

検査数「159位」の衝撃

人口比 日本、アフリカ諸国より低く

日本のPCR検査の人口比での実施数は「世界で159位」。日本共産党の志位委員長が28日、安倍首相あての「緊急申し入れ」で示した数字が衝撃を及ぼしています。

地域中で158位となっています。
 日本の検査総数は75万人近くに達していますが、100万人あたりでは5902人。主要7カ国（G7）のなかでは最低です。英国（14位）、米国（21位）、ドイツ（45位）などと比べ突出して低くなっています。

であることには変わりはありません。「ワールドメーター」は米国に拠点を置き、世界の研究者やボランティアのチームが運営しています。ウェブサイトにによると、英国、タイ、スリランカなどの政府のほか、米紙ニューヨーク・タイムズや英紙フィナンシャル・タイムズなどのメディアでも活用されています。

科学的根拠なし

医療界など批判続出

大阪府の吉村洋文知事と松井一郎大阪市長が記者会見（4日）で、「ポビドン」成分を含む「うがい薬」を推奨するが、科学的根拠はないと批判が続出している。

大阪府知事・市長が奨励「うがい薬でコロナ対策」

「うがい薬」で「うがい」をする。新型ウイルスの感染予防になります。

「うがい薬」の中には、口の中の菌を殺す成分が含まれているものもあります。しかし、これは、COVID-19の感染予防には効果がありません。

日本医師会の中川俊男会長は5日の記者会見で、「うがい薬の効果については現時点ではエビデンス（根拠）が不足している」と述べました。厚生労働省も同日、「一因としてまだ推奨するとかしないとかいう段階ではない。現時点で効果があるというには時期尚早ではないか」と説明しました。国会内で開かれた野党会合で同省担当者が明らかにしました。

しんぶん「赤旗」ご購入は

黒田みちまでご連絡ください。

☎ 090-9987-7909



吉村知事の会見後、全国で「うがい薬の品切れが相次ぎ、問題になっています。」

「うがい薬」の効果については現時点ではエビデンス（根拠）が不足しているという科学的根拠はないと、医療界などから疑問の声が相次いで上がっています。